



第3会場●3F 第5研修室

■司 会/山下 伸明 鳥取県教育委員会事務局家庭・地域教育課 社会教育主事
丸谷 由 沖縄県ネコのわくわく自然教室 代表

1 NPO 法人子どもたちと共に学ぶ教室シニアスクールの過程と成果 10:45 ~ 11:10

－「コミュニティ・スクール実践研究校」の挑戦と試行錯誤－

藤井 敏明（岡山市岡町） NPO 法人子ども達と共に学ぶ教室シニアスクール 理事

文科省指定「新しいタイプの学校運営のあり方に関する実践研究校」として出発し、「コミュニティ・スクール」のモデルを提示することが課題であった。実践上の枠組みとして中学校区内のすべての保育・教育機関が連携した地域教育力の向上の取り組みとして「シニアスクール」を企画し、ボランティア講師を募集し、学習内容を検討し、世代間交流の実態を研究した。結果的に、高齢者は新しい目的を発見し、高齢者と共存している学校・園の子ども達は落ち着きを取り戻した。

2 生涯学習実践研修の創造と企画運営方法の転換 11:10 ~ 11:35

－山口県プランニング・マネジメント研修の自己企画－実践プロセスの検証－

赤田 博夫（山口県） 山口県生涯学習推進センター 主査
大島 まな 九州女子短期大学 助教授

研修運営上の第1ポイントは班別研修グループ：実践チームの編成である。現状分析から問題の設定、処方施策の提案と施策の具体化のための個別プログラムの作成まですべての過程をKJ法を活用して作成した。実践を前提とした自己診断－自己分析－自己企画の方法で作業を進めた。第2ポイントは合宿形式の研修で「同じ釜の飯」：「経験の共有」時間を確保し、「持ち寄り方式」の夕食会で連帯感の醸成に努めた。第3のポイントはグループ実践を研修担当者がきめ細かくフォローし、情報の相互交流に努めた。結果的に5班すべての計画が実践に移されてそれぞれの成果を上げた。

3 文化振興と交流を目指した「地域ブロック文化交流システム」の構築 11:35 ~ 12:00

－5町文化協会の連合による総合的文化創作発表ステージの創造－

宮地 より子（長崎市） 香焼町文化協会 会長

平成9年に発足。郡内5町の交流を深めるため各文化協会と教育委員会の協働による年1回、持ち回り方式の合同創作発表会である。旧町の交流と文化活動の振興を目的とし、住民による多様な活動の発表ステージを創造して、文化振興、交流活動を展開中。企画は持ち回り方式で、当該年度の担当協会の創意工夫を取り入れ、経費は折半する。事業の企画運営は「長崎市南部地区文化交流のつどい実行委員会」方式で行われている。

4 総括討論 12:00 ~ 12:30